



陸沢町立歴史民俗資料館



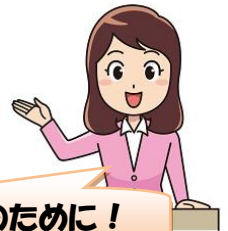
〒297-0024 茂原市八千代 2-10
千葉県教育庁東上総教育事務所
TEL 0475-23-8125 FAX 0475-25-3143
E-mail hkzs04@mz.pref.chiba.lg.jp
第5号

平成27年12月18日(金)発行

所長訪問・指導室訪問を振り返って

今年度は、所長訪問66校、指導室訪問65校を行いました。訪問を学校運営の改善や教員の指導力向上の機会と考えて取り組んでいただきました。

一方、事務所所員も万全の準備をして訪問に臨み、授業参観や諸表簿の点検等を通して、学校を知り、先生方を知り、学校力や授業力を向上させるために、指導・支援をしてきました。訪問を通しての成果と課題について、各課室ごとにまとめましたので、今後の参考にさせていただければと思います。

**すべては、子どもたちのために！**

総務課

今年度は、所長訪問に課長や課員が同行し、31校の学校を訪問いたしました。訪問では主に給与関係の諸表簿の点検を行いました。訪問に際しまして、表簿等の準備や丁寧な説明をしていただき、ありがとうございました。

今年度からは、事務長が在籍する学校への所長訪問では、概要説明に同席していただき、事務長としての立場から意識の高い意見などもいただきました。

諸表簿点検の結果については、既に校長会議や教頭会議等の資料に載せてありますので、目を通してください。その中で、各手当の状況が管理しやすいように一覧表を作成し、手当の認定に誤りが出ないように工夫している学校もありました。また、一部の学校で押印漏れ、認定簿の記載誤り等が見受けられました。これらの不備は、よく確認することにより防げることです。再度のチェックをお願いします。

今後も、適正・正確な事務処理の徹底を図ってまいりますので、ご協力をお願いいたします。

管理課

訪問を学校経営及び運営の診断のよい機会ととらえ、すばらしい環境を整えて迎えていただき、ありがとうございました。

施設設備の安全管理については、多くの学校が児童生徒の安全を第一に考えた対策をとっていました。しかし、転倒防止策や危険物の管理が不十分であった学校もいくつか見られました。「もう大丈夫」ではなく「もしかしたら・・・」と万が一の時のことを考え、高い意識を持って安全点検等の実施をお願いします。

また、不祥事根絶に対する取組では、繰り返しの研修やKJ法・ロールプレイングを取り入れた工夫した研修を実施している学校も多く、「本校からは不祥事は絶対に出さない！」という強い意志を感じることができました。しかしながら、県全体で見ると、不祥事がなくなりません。引き続きコンプライアンス意識の高揚を目指した取組をよろしくお願いします。

授業では、多くの学校で、「学力の向上」を経営の重点に掲げ、授業力向上、学習の充実、ICT機器の導入など特色ある取り組みをしている学校も多く見られました。



指導室

学校経営に関して、校長先生方の学校改善への積極的な姿勢や具体的なアプローチが強く感じられ、地域との連携や様々な人材を活用した特色ある取組も多く見られました。

学力向上について、「全国学力・学習状況調査」「千葉県標準学力検査」の結果の分析・課題の明確化がなされ、ドリルタイムや読書タイム、補習等の実施や、県教育委員会作成の「学びの突破口ガイド」等の活用などの具体的取組が展開されています。

授業では、言語活動の充実や、『「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム』の4プロセスを意識した取組、ICTの活用が増えていることが大きな特徴です。

「学校いじめ防止基本方針」に基づく取組が全ての学校で行われ、ユニバーサルデザインを意識した環境づくりや指導が増えていることに、生徒指導や特別支援教育に関する意識の高さが感じられました。

「遊・友スポーツランキングちば」への参加を通して体育・健康面の向上に努めている学校、ホームページや学校だより等での情報発信に努めている学校も多いです。

これらの取組は、ねらい達成のための手立て(手段)です。それ自体を目的化せず、実践を検証して、更なる改善に向けて引き続き努めていただくよう期待します。

また、本年度は中学校において、調査書・指導要録等の点検もさせていただきます。小学校も併せて、関係書類の作成や処理に関して、誤記載等の防止に、なお一層のご配慮をよろしくお願いいたします。



『平成27年度東上総教育事務所管内学力向上交流会』が開催されました



11月5日(木)に芝山町立芝山中学校において、220名の先生方の参加の下、開催されました。全体会では、千葉県教育委員会から、「平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について」(リーフレット)を用いた結果分析と活用方法の説明がありました。また、芝山中学校からも、自校の取組「客観的データに基づいた、学力向上を目指した教育実践の開発及び指導方法の工夫」というテーマによる学力向上の成果が発表され、その後の授業展開の中でも、その取組の工夫が見られ、大変参考になりました。

分科会では「ちばっ子『学力向上』総合プラン」に基づき、下記の7分科会に分かれ、効果的な活用方法についての達人の先生による実践発表や熱心な協議が行われました。

第1分科会	「学力・学習状況」検証事業(小・中学校)	
	【全国学力学習状況調査結果の活用による学力向上実践の発表】	
第2分科会	魅力ある授業づくりの達人(国語)	【達人の実践発表】
第3分科会	魅力ある授業づくりの達人(算数)	【達人の実践発表】
第4分科会	「お兄さん、お姉さんと学ぼう」事業	【実践発表】
第5分科会	「ちばっ子チャレンジ100」(算数)	【説明・活用】
第6分科会	「学びの突破口ガイド」(国語)	【説明・活用】
第7分科会	確かな学びの早道「読書」事業	【実践協力校の発表】



『千葉県教育研究会造形教育部会研究発表大会(山武大会)』が開催されました

11月12日(木)に山武市立成東中学校・大富小学校を会場に、県内各地より400名を超える先生方の参加の下、開催されました。

「明日に生きる豊かな感性を求めて・『提案と対話』』という大会テーマで行われた公開授業では、山武地区の造形教育部会の先生方の協力の下、全学級(成東中学校8学級、大富小学校6学級)の展開があり、児童生徒が「場所」や「素材(色・形・材質)」を生かした造形活動に生き生きと取り組んでいました。



全体会に続く記念講演では「メディアアートから絵本へ～デジタルとアナログを横断するものづくり～」という演題で、メディアアーティストの岩井俊雄講師より、ご自身の創作活動を通して子どもの創造性の高まりについて示唆に富んだお話をいただきました。

午後は、課題別の6つの分科会が行われました。それぞれの分科会で2名ずつ合計12名の県内各地の先生方の提案を基に、「子どもたちが感性を揺らし、働かせ、意欲をもって生き生きと表現する」ためにはどうしたらよいか、参加された先生方で活発な協議を行いました。



コラム:今年1年の無事を感謝して! (事務所周辺の側溝清掃を行いました)



今年も残すところ、10日あまりとなりました。各学校及び関係機関におかれましても、大掃除が実施され、新年を迎える準備が整っていることと思います。

東上総教育事務所でも、SECの「Smile」(明るくさわやかな笑顔で対応)を意識し、来所された方々を気持ちよくお迎えするために、清潔感あふれる事務所を常にめざしています。

今年も、事務所恒例の行事である「所員総出の『側溝清掃』」を、12月9日(水)の午後に実施しました。当日は、穏やかな天候の中で、ふだんは机に向かっている事務処理や学校訪問を行っている所員も、この日はスーツから作業着に着替え、総務課・管理課・指導室の所員約30名がペンをスコップに持ち替え、2時間あまり汗をかきました。その甲斐あって事務所の周りは見違えるようにきれいになりました。

平成27年度もあと3か月あまり。最後の仕上げの時期を迎えます。今後とも事務所の運営に際しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。

